

令和6年度第1回松本市上下水道事業経営審議会会議録 要旨

日時 令和6年6月3日 午後3時30分

場所 松本市役所本庁舎 第2応接室

1 議事

諮問事項 松本市の適正な水道料金等の在り方について

2 出席者

(1) 委員

会 長	山 沖	義 和
委 員	山 口	正 雄
//	柳 澤	勝 久
//	小 林	磨 史
//	猪 股	やよい
//	村 山	修
//	藤 井	佳 子

(2) 事務局

上下水道局長	向 井	津 富
総務課長	中 川	修
営業課長	田 中	智絵子
給排水設備担当課長	田多井	清 純
上水道課上水道計画担当係長	遠 藤	浩
下水道課長	百 瀬	久 芳
総務課総務担当係長	小 沢	啓 一
総務課総務担当	西 村	朋 子
//	三 村	育 江

会長 市長からの諮問事項「松本市の適正な水道料金等の在り方について」、委員の質問やご意見を申し上げます。

委員 資料2ページについて、令和4年度は確定値であると思いますが、この差額の数値は、損益計算書のどこに記載されているのでしょうか。

事務局 資料の数値は消費税が含まれているものになります。損益計算書は消費税が含まれていない金額で作成するため、純損益以外は、損益計算書に記載はされていません。

委員 数値など、もう少し分かりやすく提示した資料にできるものなのでしょうか。

会長 公営企業会計制度は、第3条・第4条があり、また、税込み、税抜き表記もあるため煩雑で分かりづらいかもかもしれません。

事務局 できる限りわかりやすく資料を作成するように努めます。

委員 資料3ページにおいて、令和10年以降の補てん財源について教えてください。

事務局 令和10年度で、補てんできる財源がなくなる見込みです。令和10年度以降は、事業の継続が困難になります。

委員 資料2ページで、収益が令和13年度以降大きく減少している理由を伺います。

事務局 中期財政計画から算出しています。長期前受金が大きく減少していく見込みです。

委員 資料2ページの「その他」とはなんのでしょうか。

事務局 主に、仮受け仮払いの消費税です。

委員 令和5年度の国からの臨時創生交付金額を教えてください。

事務局 令和4年度が約4億円、令和5年度が約6億円です。

委員 資料3ページですが、令和5年度は、22年ぶりの赤字が見込まれているのでしょうか。

事務局 現在決算数値を精査しており、決算は9月議会で確定します。

- 委員 資料4ページの類似都市・平均値が、99.41%と前年度に比べて低くなっていますが、地方創生臨時交付金の影響でしょうか。
- 事務局 地方創生臨時交付金の影響もあると思います。
- 委員 資料5ページの建設改良費は、もっと平準化できないのでしょうか。
- 事務局 年度ごと、どうしても事業量の増減がありますが、事業は計画的に進めています。
- 委員 資料7ページの管路経年化率は法定耐用年数に基づくものですか。
- 事務局 法定耐用年数に基づきます。
- 委員 松本市の管路の更新は、松本市標準耐用年数を用いて進めているのであれば、そのことをもっと市民に周知すべきだと思います。
- 会長 松本市標準耐用年数は、現実的な耐用年数にするという考え方だと思います。耐用年数が正確に分からない管もあることから、市独自で定めているのではないのでしょうか。
- 委員 資料8ページでは、基幹管路の耐震化率が41%となっていますが、能登半島地震のような大規模の地震が起きた場合、本市の管路はどうなるのでしょうか。
- 事務局 水道施設の耐震性能基準は、レベル1と2で判断します。阪神淡路大震災レベルの地震動を意味するレベル2の地震に対して、機能保持ができるように耐震化を進めています。
- 委員 ぜひ、耐震化を進めていただきたいと思います。  
また、口径13mmの場合、現在の本市の基本料金1か月858円は、県内他市と比較するとどのくらいの水準なのでしょうか。
- 事務局 基本料金のみでの比較では、松本市は、県内19市で高い方から13番目になります。  
なお、12番目までの市のうち8市は、基本料金に基本水量を含んでいます。
- 会長 資料14ページの固定費のうち、何が従量料金に配分されるのでしょうか。

- 事務局 動力費や人件費など施設の維持管理に必要な経費が固定費であり、その固定費を施設利用率などにより、基本料金と従量料金に振り分けています。全て基本料金に振り分けてしまうと基本料金が非常に高くなってしまうため按分しているものです。
- 委員 昭和63年以降、水道料金引上げの改定をしなかった理由を教えてください。
- 事務局 平成7年度は、本市の水道料金が県内でも高い水準にあったことから、引下げの改定を行い、平成19年度は、合併地区の一部と統合し、事業経営を検討した結果、引下げの改定が行われています。
- 会長 令和2年度に水道ビジョンを策定していますが、今後の料金改定の期間について計画しなかったのでしょうか。
- 事務局 料金改定をしない場合は、継続的に損失が発生することを見込んではいませんが、具体的な改定時期は定めていません。
- 会長 第2期水道ビジョン策定時は、コロナ禍の影響もあり、料金を引き上げる状況にありませんでした。また、決算状況も悪くありませんでした。昨年度から急激に経営状況が悪くなっています。
- 委員 都市計画との整合性も大切だと思います。コンパクトシティを目指しているのであれば、施設規模を小さくする等の政策が必要ではないでしょうか。例えば、水道管ではなく、トラックで必要な分の水を運んだほうが低コストかもしれないし、簡易浄化槽を設置した方がよい地域もあるかもしれません。費用を検討し、市民に周知していく必要があります。
- 委員 費用については、例えばデジタル化を進めることにより、費用を削減する等の案も必要ではないでしょうか。
- 会長 今後、どういう料金体系が良いのか整理しつつ、あわせて経費削減につながるような施策を考えながら審議会を進めていくことが必要です。

以上をもちまして本日の議事を終了します。